

【ビルマ国内・国際関係】

- ・ 民主化運動指導者アウンサンスーチー氏が4日から私的な旅行としてバガンを訪問した。地方に出かけたのは2003年以来。国民民主連盟(NLD)は現地の支持者らに集まらないよう呼びかけていたが、氏は行く先々で数百人の地元住民などに囲まれ歓迎を受けた。(7日イラワディ)
- ・ ビルマ国内で活動する「全ビルマ僧侶連盟」や「88世代学生グループ」など9団体が4日に声明を発表。「テインセイン政権はカチン州で中国と共同でダム建設を進めるためにカチン民族住民に対し武力攻撃を行っている」とし、中国政府に対しビルマ国内で進めている水力ダム建設事業から全面撤退するよう求めた。
- ・ 駐米ビルマ大使館の首席公使(大使に次ぐ位)だったチョーウィン氏が4日、亡命し米国に庇護を求めた。氏は同日付のクリントン米国务長官への手紙の中で「総選挙後も国軍が絶対的権力を保持しており、近い将来に民主化改革が起きることはない」、「自分の信念やこれまでの行動と努力が原因となり、任期を終えて帰国した暁に訴追される恐れを感じている」などと述べた。(手紙本文、4日ワシントン・ポスト)
- ・ ラッド豪外相が30日からビルマを訪問。約2,000人の政治囚を解放するようテインセイン大統領に求めたほか、外相やアウンサンスーチー氏らと会談した。豪外相のビルマ訪問は9年ぶり。(4日エイジ)

【政府開発援助(ODA)】

- ・ 「日本NGO連携無償資金協力」贈与契約締結2件:メティラ郡での生計向上プログラム(フェーズ2)のため約1,200万円(5月31日、AMDA社会開発機構に供与)、ナマウ僧院付属タケタNo.1小中学校建設計画のため約1,460万円(5月16日、南東アジア交流協会に供与)。

【注目アイテム】

- ・ 国境なき記者団など12団体が、ビルマで長期禁固刑を宣告され収容中の映像記者(VJ)17人の解放を求める共同声明を発表(7日)。キャンペーンサイト:<http://www.freeburmavj.org/>
- ・ 全ビルマ僧侶連盟など9団体が、ビルマで進行中の水力ダム建設事業から全面撤退するよう中国政府に求める声明を発表(4日)。<http://www.burmainfo.org/article/article.php?mode=1&articleid=527>
- ・ 「ビルマ北部の内戦 水力開発事業が引き金」(6日特定非営利活動法人メコン・ウォッチ)
http://www.mekongwatch.org/resource/news/20110706_01.html
- ・ 「ミャンマー北部で戦闘続く 中国利権が関与 カチン州で1万人が難民化 国軍兵士による集団強姦も伝えられる」(4日アジアプレス経由 Yahoo!Japan) <http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20110704-00000000-asiap-int>
- ・ 政治囚支援協会(AAPP)の集計によれば2011年6月末現在、ビルマで収容されている政治囚は1,994人。
http://www.aappb.org/Monthly_Chronology_of_Burma's_Political_Prisoners_for_June_2011.pdf

【イベント・番組情報】([] 内は主催者。共催等は省略)

- ・ [世界連邦運動を推進する会ほか] ドキュメンタリー『ピュア 希望の鐘』上映・講演会(愛知・豊橋市民文化会館第四会議室、9日14時~17時、開場13時半)
- ・ フジテレビ「ザ・ノンフィクション~となりの難民たち」(10日14時~14時55分) *日本に来たカレン人難民夫婦を取り上げる。http://www.fujitv.co.jp/fujitv/news/pub_2011/110620-thenonfx.html
- ・ [ビルマ民主化ネットワーク日本(NDB)] 日本政府に対し13日のビルマ軍政国会議員20人招聘の撤回を求める行進(六本木・三河台公園から日比谷公園まで。11日14時に三河台公園に集合、14時半行進開始)
- ・ [国民民主連盟(解放地区)日本支部] 殉難者の日記念抗議行動(ビルマ大使館前、19日15時~16時)

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>